

9月うぶやま天文台星空情報 3

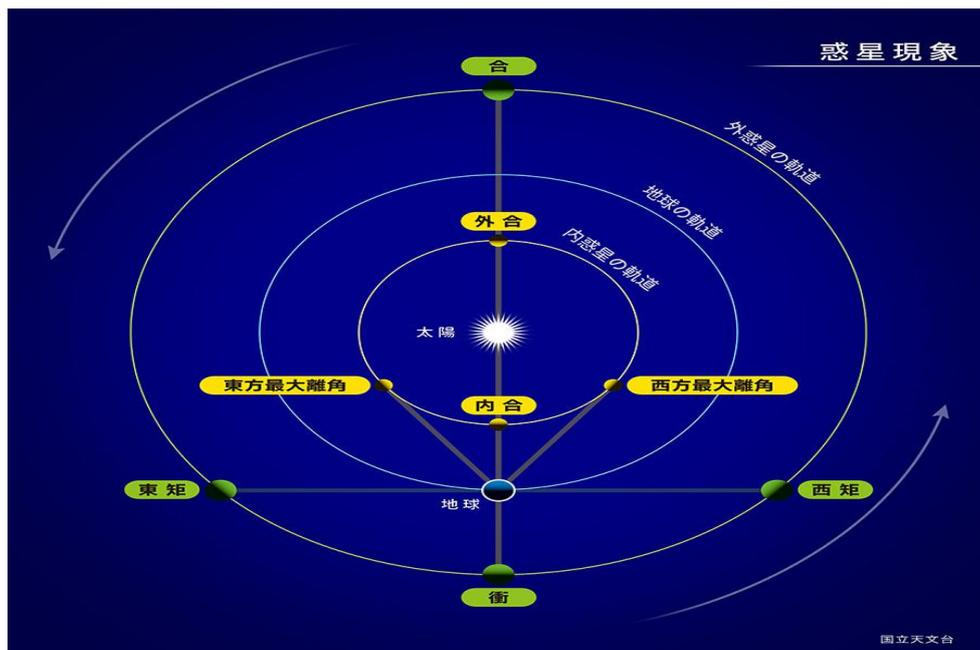
土星が見頃



天空が広がるうぶやまの高原は、厳しい残暑も終わり、秋の気配を感じさせる高原の涼しい風が吹いています。宵の西空には夏の星座が見え、それを追いかけるように秋の星座が東から昇ってきます。

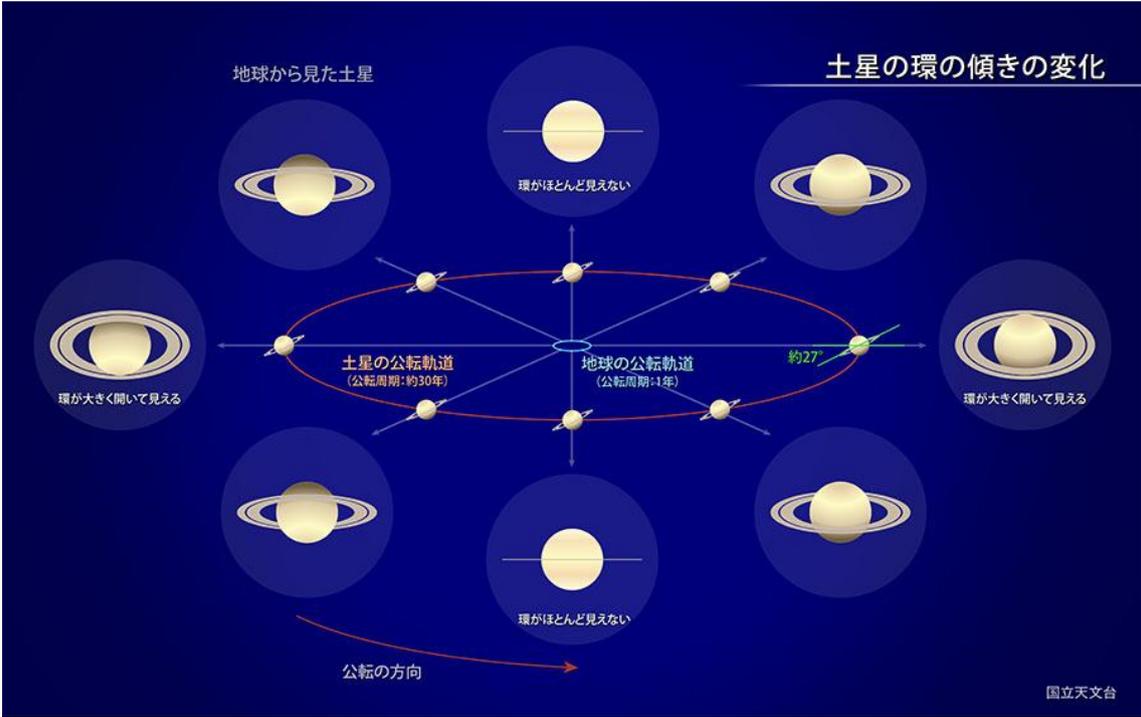
9月の星空情報の第3弾は、9月21日に土星が「衝(しょう)」となり観望の好機を迎えます。衝とは、太陽系の天体が地球から見て、太陽とちょうど反対側になる瞬間のことです。衝の前後の時期、土星は、日の入りの頃に東の空から昇って、真夜中に南中し、日の出の頃に西の空に沈むため、一晩中見ることができます。

「環(わ)」のある惑星として人気のある土星ですが、2025年の土星は少し様子が違います。土星の環は公転軌道(惑星の通り道)に対して少し傾いていて、地球から見たときの傾きがおよそ15年の期間で変わります。今年は環を横から見る時期にあたり、3月には、土星の環を完全に真横から見る位置関係になって、環が見えなくなる現象が起こりました。ただし、3月から4月中旬までは太陽に近く、観望には適していませんでした。観望の好機を迎えた秋の頃にも、普段の年より環の傾きが小さく、環は細く見える状況ですが、15年に1回の現象ですので、ぜひ天文台の大型望遠鏡で覗いて見てください。



土星の衝

国立天文台



土星の環の傾きの変化